

広島市植物公園 見どころ案内

2021年5月1日
通巻第502号

コバナタツナミ (シソ科)

本州(関東以西)・四国・九州の海岸近くを中心に自生。山野草としても栽培され、よく増えます。青花のほかには白花があり、別名はビロードタツナミ。

リージャンロード クライマー (バラ科)

早咲きの一季咲きつるバラ。既に満開です。四季咲きの大輪バラはこれからですが、次々と咲き始めています。

ハチオラ

(サボテン科)
対面のリプサリスに似ていますが、別属です。草姿から別名は葎(あし)サボテン。

ミズキ (ミズキ科)

早春に枝を切ると水が滴り落ちることから、水木。樹形に特徴があり、枝が階段状に展開します。

カエンボク (マメ科)

世界三大花木の一つ。赤橙色が普通の色ですが、当園の株は黄色で珍しいです。

キンセンカ (キク科)

地中海沿岸原産。和名は中国名に由来し、花の色と形を「金色の盃(金盞)」に見立てたもの。属名の「カレンデュラ」と呼ばれることも多く、花期が長いのも特徴です。

エビネ (ラン科)

日本に自生する野生ランで、かつては林間などで普通に見られましたが過去のブームによって数を減らし、現在は環境省の準絶滅危惧(NT)に選定(掲載)されています。

展示会のご案内

- ◇ 展示資料館 (4/3~5/5)
ボタニカルアート作品展
- ◇ 展示温室
春の洋ラン展 (4/29~5/6)
- ◇ 屋外展示場
クレマチス展 (5/1~5/6)

アヤメ (アヤメ科)

東アジア・シベリア原産。ハナショウブやカキツバタと違い、明るい草原に生育する植物です。

ネモフィラ (ムラサキ科)

レストラン前の花壇に植えてあるネモフィラが満開です。鮮やかな青色の花が一面に広がっています。

ジャーマンアイリス

(アヤメ科)
地中海原産のアヤメのなかまを改良したもので、花弁にひげのようなものが見えるのが特徴です。

カイノキ (ウルシ科)

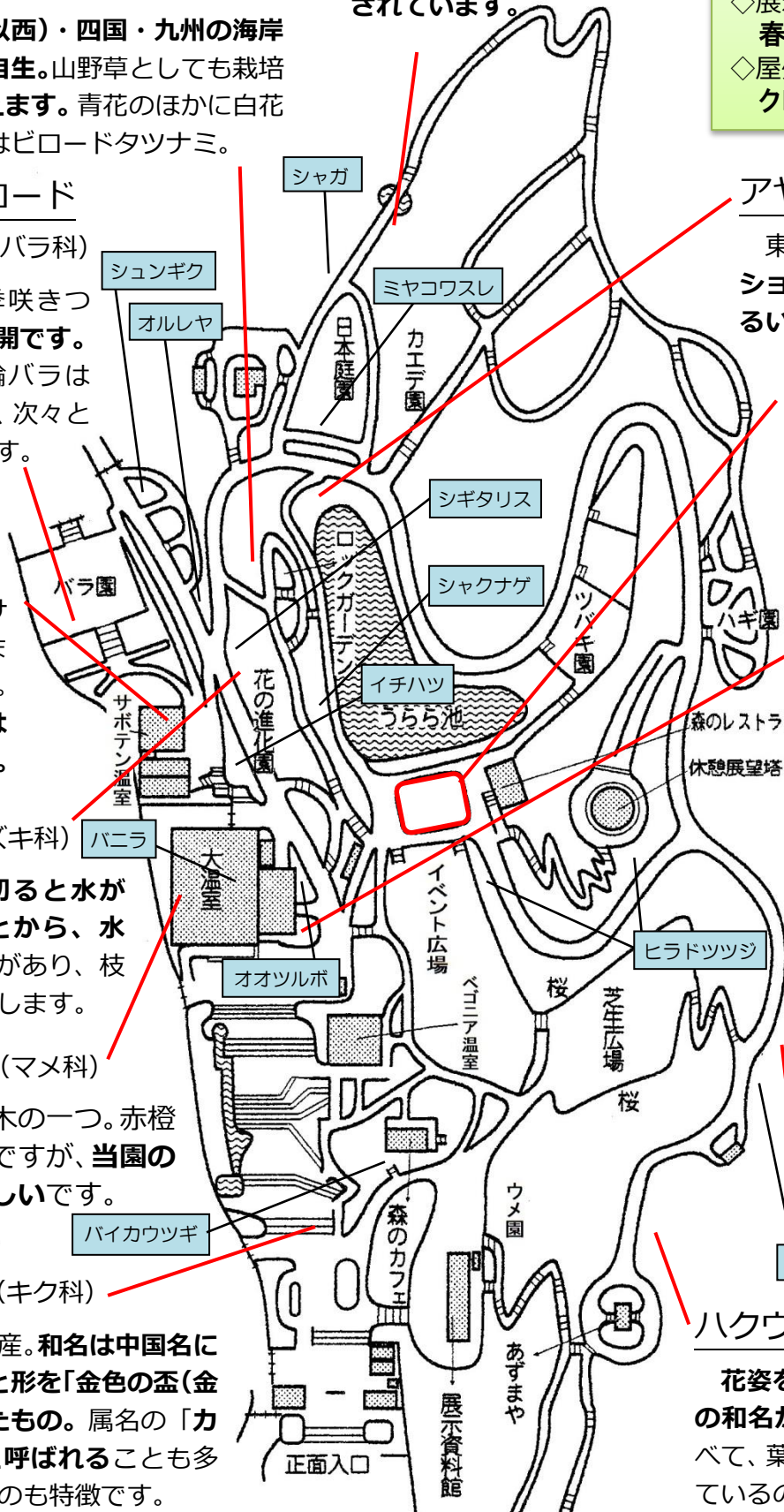
孔子に所縁のある植物で学問の木として大切にされます。開花しています。

キシケイ (モクセイ科)

ヒマラヤ原産。ジャスミンのなかまですが、香りは弱め。

ハクウンボク (エゴノキ科)

花姿を「白い雲」に見立てて白雲木の和名がつけました。エゴノキと比べて、葉が大きく、花序が房状になっているのが見分けるポイント。



❀ 毎週土・日曜日・祝日 午後1時半~3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します ❀
❀ 毎月第2火曜日・第4土曜日 午前11時~は、職員による植物うんちく語りを実施します ❀